



挿啓

あけましておめでとうございます。

新しい年が始まりましたね。皆さんの今年の抱負はなんですか？

もう決まっている！と言う方も、まだ迷っているという方も、

ぜひ図書館に来て下さい。新しい知識に触れることで、挑戦したいことへのヒントや、自分の目標が見つかるかも。

みなさんのやりたいことが“ウマ”く行く年になりますように。

かしこ

～今月のラインナップ～

Calendar

2026年2月・3月カレンダー

LiLian Special Info.

図書館bingo 図書館を巡ってスタンプを集めよう！

今月の一冊

『ザ・ロイヤルファミリー』 早見和真／著

LiLian Interview

張 小鋼先生（文学部 外国語コミュニケーション学科）

2026年

2月

開館時間

★8:45-19:30

○9:00-16:30

日	月	火	水	木	金	土
1 休	2 休	3 休	4 ○	5 ○	6 ○	7 休
8 休	9 ○	10 ○	11 休	12 ○	13 ○	14 休
15 休	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ○	21 休
22 休	23 休	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○	28 休

2026年

3月

開館時間

★8:45-19:30

○9:00-16:30

日	月	火	水	木	金	土
1 休	2 休	3 休	4 休	5 休	6 休	7 休
8 休	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○	13 ○	14 休
15 休	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 休	21 休
22 休	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○	28 休
29 休	30 ○	31 ○				

最新の情報はHPをご確認ください

*3/2～3/6は蔵書点検のため休館



学生・教職員
の皆さん

返却期限の延長はスマホから行ってください

①My Library



②貸出・予約状況



③更新



▶ ④OKで延長完了

延長は2回までOKです！

ただし1冊でも期限切れがあると、全ての資料が延長できません。
予約が入っている資料も延長できません。



図書館 ビンゴ

図書館を巡って
スタンプを集めよう！



図書館ビンゴは、館内を歩きながらスタンプを集めるイベントです。

普段はあまり行かない場所や、知らなかったサービスを見つける
きっかけになるかもしれません。
気軽に参加して、図書館をもっと身近に感じてください。



2026年5月30日までの期間中、図書館内に設置された9つの
スタンプをすべて集めると、大学オリジナルバッグをプレゼント☆
すべて集めたら、レンタースカウンターまでお持ちください！！
開館日の16:30まで受け付けています。

*金城生限定

⑨グループ学習
コーナー

4 F

⑦学術雑誌コーナー

⑧英語多読レベル1

⑥日本文学

3 F

⑤書庫2F入口

④読書コーナー

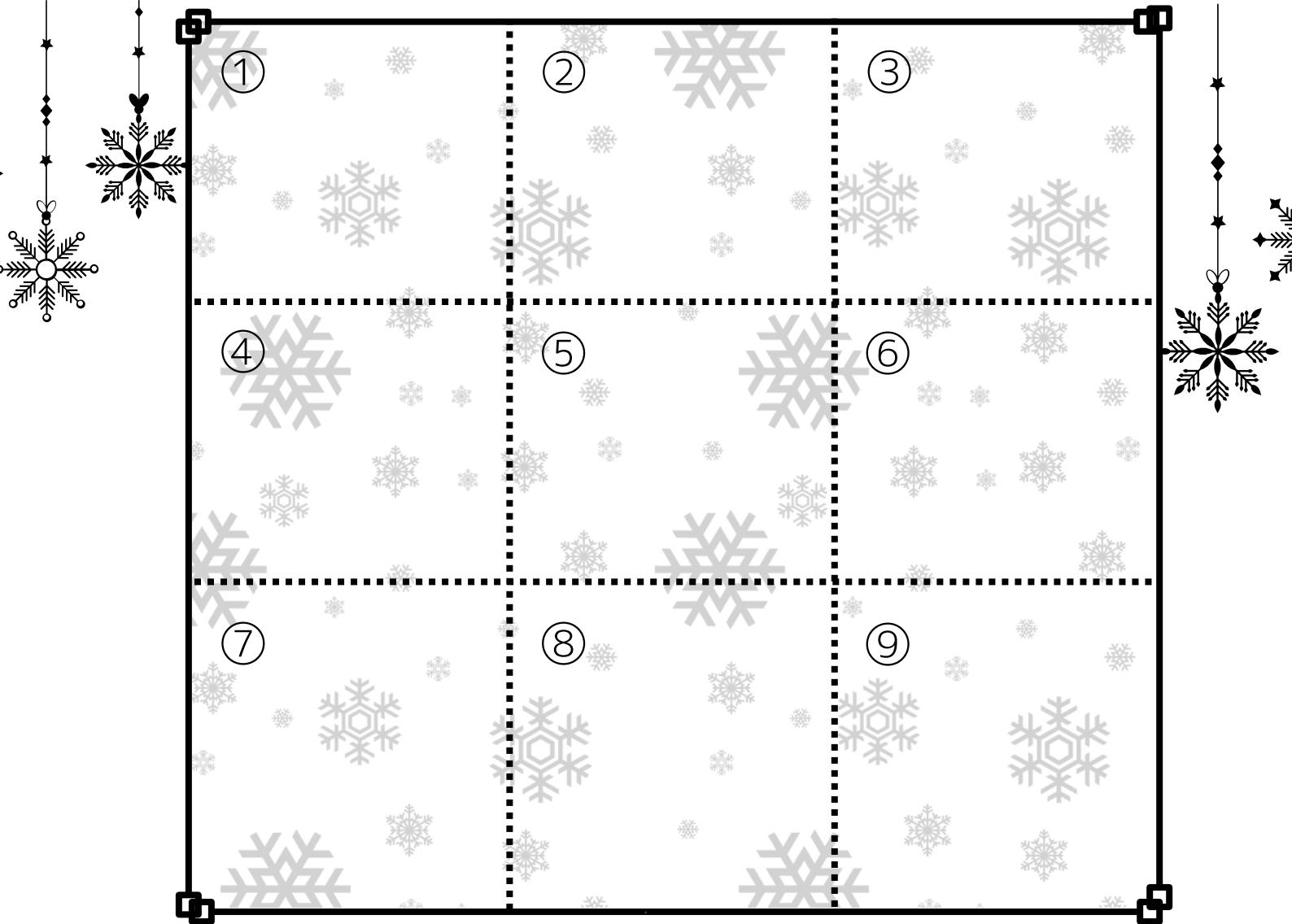
2 F

③書庫 1 F 入口

①ラウンジ

②AVコーナー

1 F



♪ここにスタンプがあるよ♪

- ①ラウンジ♪ ゾウの近くを見てみよう
- ②AVコーナー♪ マトリョーシカの近く
- ③書庫1F入口♪ 初めてに入る人が多いかな
- ④読書コーナー♪ 柔らかい椅子があって、とても落ち着く空間だよ
- ⑤書庫2F入口♪ 1Fとは違う入口だよ
- ⑥日本語学、日本文学♪ 閲覧室3Fの1番奥だよ
- ⑦学術雑誌コーナー♪ 卒論で使えそうな雑誌がたくさん
- ⑧英語多読本コーナー（レベル1）♪ 楽しく英語の勉強ができるね
- ⑨グループ学習コーナー♪ 勉強してる人がいるよ静かに押そう
(おとね、あゆみ)

LiLian Interview

大好きな先生に
インタビューに
行こう70

文学部 外国語コミュニケーション学科

張 小鋼先生



1. 先生にとって本は何ですか

私にとって本は、まさに“かわいい子どもたち”です。我が家は、本で溢れかえっています。書斎、リビング、納戸、そしてキッチンの流しの下にも本が詰まっているほどですからね。来たる3月に定年退職となりますので、長年過ごした研究室の書籍も含め全て自宅へ持ち帰ることになり、最近、書庫まで建てました。私は日本語を独学で覚えたため、辞書が頼りです。そのため辞書だけでも本棚が3棚あります。定年後は、これらの愛着ある書籍を分類し、全てリスト化するという作業に、1年かけてじっくりと取り組むことになりそうです。

2. 最近の嬉しかった出来事

私の恩師である、中国文学者の今鷹真先生の蔵書を全部譲り受けることになったことです！ 今鷹先生にとって、本は「精神安定剤」であり、「本に囲まれる空間に座るだけで心が落ち着く」とよくおっしゃっています。先生が生涯をかけて蒐集された本を一度にいただいて先生の精神安定剤をなくしてしまうのは忍びないため、現在は時間をかけて、少しずつ譲り受けている状況です。8月だけでも4回、先生のご自宅にお伺いしました。実は、書庫を建ててからこのお話をいただったので、急遽、書庫の中に本棚を14棚増設しました。

3. おすすめの中華料理

よく「名古屋で一番美味しい中華料理屋さんはどこですか？」と聞かれるのですが、料理を作ることが大好きなので、正直に言うと、自分で作った料理が一番美味しいです。そのため、一番美味しい中華料理屋さんという質問にはいつもお答えできません。角煮、餃子、肉団子はもちろん、うどんは麺から手作りするほどです。最近は、蒸しナスの香味漬けをよく作ります。新鮮なしょうが4個、ニンニク15個、セロリ2本を全部みじんぎりにして、そこに蒸したナスを一晩漬け込むんです。「みじんぎり！？」と驚かれるかもしれませんが、おいしいものを食べたいなら、やはり時間をかけることが大切です。今は「舌好調（ゼッコウチョウ）」です！

4. 人生で一番楽しかった体験

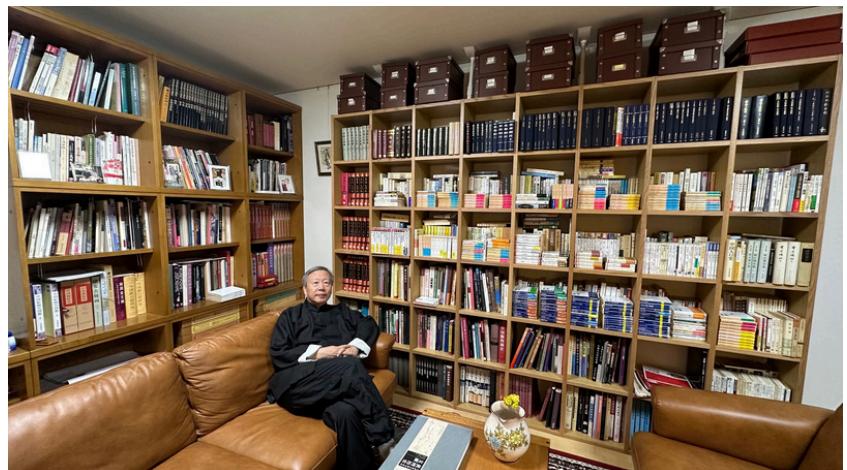
間違いなく、金城学院大学での生活が一番楽しいですね。23年前にこの大学に赴任した時に、「ここで生涯をかけて、研究と教育に携わっていこう」と心に決めました。金城生は、一度やりだすと真面目で本当によく勉強してくれます。教えたことをきちんと実践してくれるのです。たとえば、学生らは日本の中国語スピーチコンテスト愛知大会で、これまで何度か優勝しています。中国語の専門学部や学科を持つ大学が多数ある中、本学は外国語コミュニケーション学科内の中国語コースでしかありません。それなのに、学生が「先生、私、優勝しちゃいました！」といつて、満面の笑顔で帰ってくるんです。これは本当にすごいことですよ。

5. 大切にしているモットー

大切にしているのは「何でも楽しくやること」、そして「悔いのない人生を送ること」です。過ぎた時間は二度と戻りません。そのため後悔しないように、一日一日を大切に過ごすよう心がけています。日々勉強し、日々頑張りましょう！

6. 定年後の抱負

私が定年後に目指すのは、膨大な蔵書に囲まれた「晴耕雨読」の生活です。私にとっての晴耕雨読とは、書物を読み解く勉学（読）と、その成果を世に伝える活動（耕）を両立させることです。今後は、余生をかけて恩師である今鷹先生に譲っていただいた大切な蔵書を、丹念に読み込んでまいります。そして、その勉強した成果を、書籍の出版を意味する「筆耕」、そして講演や講義を意味する「舌耕」という形で、多くの方々へ、私の得た知識を深く伝えていきたいと願っております。



7. 大好きな一冊

本は、私にとってかけがえのない“かわいい子どもたち”です。その愛おしい子どもたちの中から、たった一冊だけを選ぶことはできません。また、本は読む時期や世代によって表情を変えるもの。その時々で最高の顔を見せてくれるということもあり、どれか一冊を選ぶことができないのです。

★インタビューを終えて★

張先生が繰り返しあっしゃっていた「本ば"かわいい子どもたち"」という言葉に深く心を打たれました。先生のこの言葉には本に対する愛情が凝縮されていて、人に想いが伝わる言葉がすっと出てくるところに大変感銘を受けました。そして、だからこそ、たった一冊は選べないと言い切られた先生の潔い姿勢が、とてもかっこよかったです。私も「今までで一番面白かった本は？」とよく聞かれるのですが、一番は選べないと思いながらも無理に選んでいました。次からは、選べないことは選べないと自信を持って答えたいと思います。(かのん)

インタビューで初めて張先生にお会いしました。初めは緊張していたのですが、先生が笑顔で明るく話してくださったのでとても楽しい時を過ごすことができました。先生のお話の中では、料理のお話が特に印象に残っています。私は料理を作る時は、時間をかけずに作ろうとしてしまうことが多いのですが、先生のお話を聞いて、次に料理を作る時は時間をかけておいしい料理を作つてみようと思いました。(あやか)



『ザ・ロイヤルファミリー』
早見和真／著
請求記号 913.6/H478/2
閲覧室3F

「お前に一つだけ伝えておく。絶対に俺を裏切るな」

栗須英治は父と共に働きたいという思いから税理士を志したが、父が亡くなつたためにそれは叶わぬ夢となつた。空虚な心を抱えたまま税理士を続けていた栗須は、偶然再会した友人に誘われ購入した馬券が縁で、人材派遣会社「ロイヤルヒューマン」の社長・山王耕造の秘書として働くことに。

「自身が所有する冠名『ロイヤル』の馬で有馬記念を勝つ！」そんな夢を追う物語を、栗須の視点から淡々と、しかし競走馬への情熱が垣間見える語りが描く。これは20年に渡る、親と子、人と競走馬の物語。誰になんと言われようとも夢を追う人へ贈る、ファンファーレのような一冊です。



学生プロジェクト展示
「帰ってきた ガチで調べた！刀剣男士
—図書館で深まる、刀剣沼—」を開催中

図書館1Fラウンジでは、学生が刀剣男士のモチーフとなった刀剣に自ら会いに行き、図書館で調べた情報とあわせてまとめた旅のレポートを紹介しています。さらに深く調べたいときは、国立国会図書館の「デジタルコレクション」がおすすめ！

昔の雑誌や絶版本などの貴重な資料が公開されていて、例えば「三日月宗近」を全文検索すれば、膨大な資料の中から三日月宗近をピンポイントで発見できます。利用者登録をすれば閲覧できる資料もぐっと増えるので、ぜひ展示とあわせて活用してみてください！

